



学校通信

令和2年1月8日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第11号)

小さなことからコツコツと！

教諭（研修部主任） 小畑 公志

新年あけましておめでとうございます。本年も保護者の皆様には、教育活動への御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

現在、本校では1月31日（金）の全国公開研究発表会に向けて準備を進めています。学校全体の研究テーマは、「視覚障害教育の基礎・基本を踏まえた指導の実践」です。この研究テーマを受け、私たち教員が6つのグループ（点字・歩行・弱視・情報・重複障害・寄宿舎）に分かれて研究会に所属し、指導方法を検討したり、研修会を実施したりして、研究を深めています。

昨年12月には、歩行グループ研究会による研修があり、校外歩行の注意点や電車の乗り降りにおける配慮点などについて、確認することができました。また、校内で段差のあるフロアや衝立を、駅のホームや電車として見立てて環境を作り、研修の参加教員はアイマスクを着用のうえ、白杖を使用し、段差や位置を確認しながら歩行するという体験も行いました。体験を通して、改めて歩行指導の大切さに気づき、指導実践を見直す大変良い機会となりました。歩行指導だけではなく、各グループ研究会が実施する研修では、学習面、日常生活面の指導の工夫点や改善点を見出すことができます。今後も引き続き、子供たちの学ぶ意欲を引き出し、生きる力を育てていくためにも、研究・研修を積み重ねていきたいと考えております。

新しい年を迎え、子供たちは気持ちを新たに目標に向かっていくところと思います。目標のことをやり遂げた達成感を味わうことができるように、焦らず、あきらめず、『小さなことからコツコツと！』取り組んでいきましょう。私たち教員も、子供たちの「できた！」という瞬間に、たくさん立ち会うことができるように励んでまいります。

「中学部 校内就業体験、校外就業体験」

中学部では、働く経験を通して将来の自分について考えるために、毎年「校内就業体験」を実施しています。生徒たちは1～5校時終了まで最後まで集中し、黙々と作業を続けました。仕事に対する真摯な姿勢は中学部の生徒の特徴をよく表し、頼もしさを感じました。

また、今年度から3年生全員を対象に「校外就業体験」を実施しました。スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど、一般企業や公立図書館、福祉作業所など、個別にそれぞれの体験場所で汗を流してきました。働く苦労、そして、魅力を実感する貴重な経験となりました。

まだ中学生、されど、もう中学生です。「就業体験」という特別な1日が「将来」をより意識する機会であってほしいと思います。（中学部 藤波）

